

# 令和6年度 荒尾市当初予算案の概要



整備が進むあらかし海陽スマートタウン  
令和6年度は荒尾市ウェルネス拠点施設の建設に着手します。

# 目次

1. 会計別予算規模	1P
2. 一般会計歳入予算	2P
3. 一般会計歳出予算(目的・性質)	3～6P
4. 財政状況(基金、地方債残高)	7～8P
5. 基本方針	9P
6  こどももみんなも笑顔でいられるまちをつくる	10～11P
6-1. 切れ目のない充実した子育て環境をつくる	12～13P
6-2. 誰もがつながりを持ち、健康でいきいきとした暮らしをつくる	14～15P
6-3. 雇用の確保と所得の向上で安定した暮らしをつくる	16～17P
6-4. あらおファンを増やすとともに、移住しやすい環境をつくる	18P
6-5. 先進的で持続可能なまちをつくる	19～21P

# 予算規模

## 一般会計当初予算 263億6千万円

### 令和6年度会計別予算規模

会計名		令和6年度	令和5年度	当初予算の比較	
一般会計		263億6,000万円	244億円	+19億6,000万円(+8.0%)	
特別会計	国民健康保険特別会計	72億9,148万円	73億5,285万円	△6,137万円(△0.8%)	
	後期高齢者医療特別会計	10億204万円	9億4,437万円	+5,767万円(+6.1%)	
	介護保険特別会計	57億9,399万円	57億5,448万円	+3,951万円(+0.7%)	
	南新地土地区画整理事業特別会計	7億5,266万円	6億8,032万円	+7,234万円(+10.6%)	
企業会計	水道事業	収益的支出	11億8,994万円	11億3,834万円	+5,160万円(+4.5%)
		資本的支出	14億8,275万円	11億2,334万円	+3億5,941万円(+32.0%)
	下水道事業	収益的支出	13億3,368万円	13億4,818万円	△1,450万円(△1.1%)
		資本的支出	13億3,678万円	12億2,331万円	+1億1,347万円(+9.3%)
	病院事業	収益的支出	100億3,128万円	87億3,987万円	+12億9,141万円(+14.8%)
		資本的支出	16億5,677万円	65億3,945万円	△48億8,268万円(△74.7%)

# 歳入予算の内訳

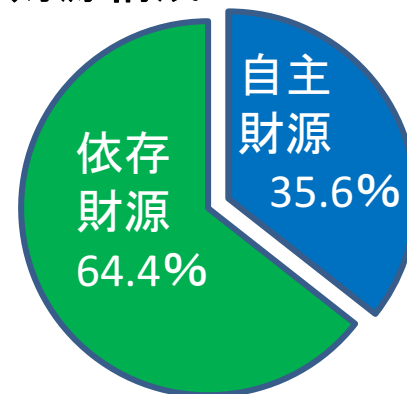
## 一般会計歳入予算

歳入は、市税や地方交付税など、その性質により区分することとなっています。また、市税、施設使用料などの「自主財源」と、国や県によって額が決められ、交付されたりする「依存財源」の2つに区分されます。

区 分	説明	当初予算額	前年度比
自主財源		93億8,375万円	+5.2%
市 税	市民税や固定資産税等	51億5,617万円	△4.0%
分担金及び負担金	保育料等	7,667万円	△33.1%
使用料及び手数料	施設の使用料や 各証明書の交付手数料	5億5,577万円	△0.4%
繰 入 金	基金などからの繰入金	24億7,659万円	+32.3%
そ の 他	寄附金や受託事業収入	11億1,855万円	+11.5%
依存財源		169億7,625万円	+9.6%
地方交付税等	地方交付税や地方譲与税など、国が集めた税金などが一定割合で配分されるもの	68億9,061万円	+4.1%
国県支出金	特定の事業に対する国県からの補助金など	74億9,984万円	+6.4%
市 債	大きな事業を行うために国や銀行から借り入れるお金	13億8,180万円	+138.0%
地方消費税交付金	地方消費税を財源として交付されるお金	12億400万円	△2.8%



財源構成





# 歳出予算の内訳

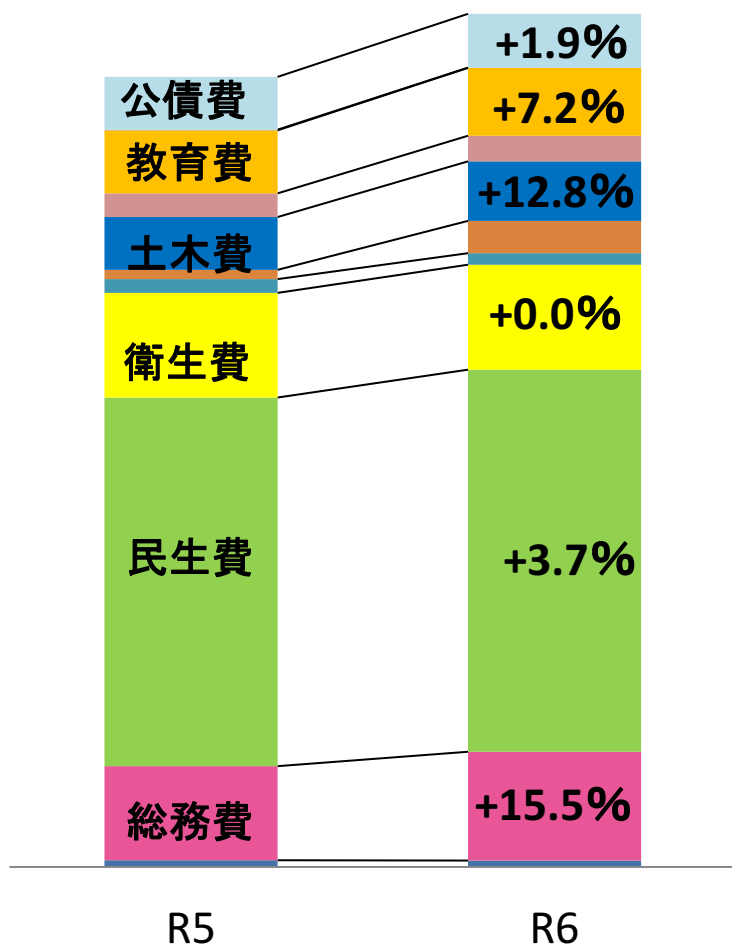
## 一般会計歳出予算【目的別】

歳出は、民生費、土木費、教育費など、その目的により区分することとなっています。

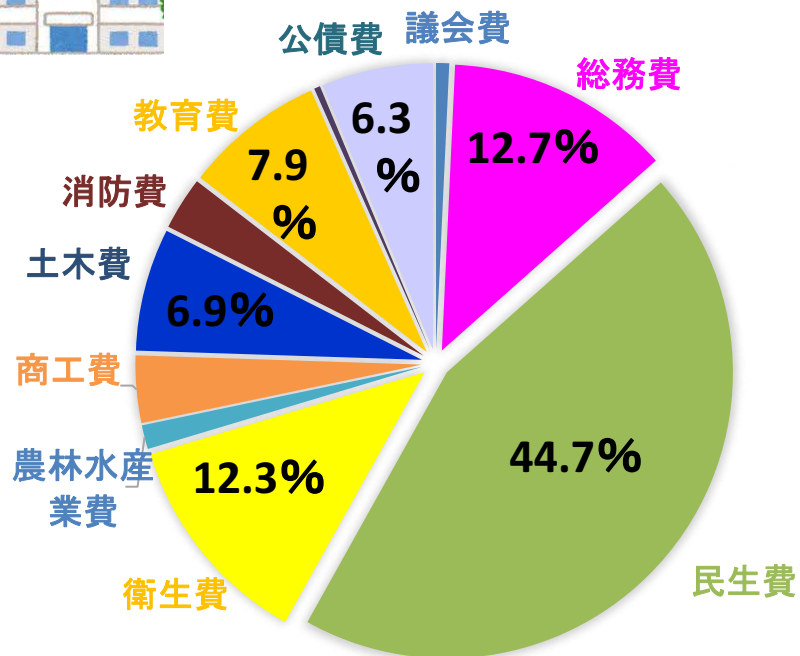
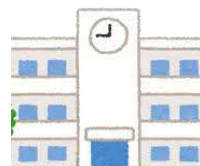
区 分	説 明	当初予算額	前年度比
議 会 費	議員の報酬や議会事務、運営経費	1億9,451万円	△2.9%
総 務 費	市全般的な管理事務などにかかる経費	33億5,044万円	+15.5%
民 生 費	社会生活を保障するための経費	117億7,175万円	+3.7%
衛 生 費	市民の健康で衛生的な生活環境を保持するための経費	32億3,215万円	+0.0%
農林水産業費	農林水産業の振興などにかかる経費	3億5,611万円	△14.3%
商 工 費	商工業の振興や観光事業にかかる経費	10億 61万円	+241.9%
土 木 費	道路・公園・港湾・市営住宅などの維持、建設経費	18億2,718万円	+12.8%
消 防 費	消防・水防・災害対策や救急活動にかかる経費	7億8,987万円	+7.8%
教 育 費	学校教育や生涯学習などの教育分野にかかる経費	20億8,813万円	+7.2%
公 債 費	市の借金を返済するための経費	16億5,844万円	+1.9%
そ の 他	労働環境の維持改善や災害復旧にかかる経費	9,081万円	+18.8%
合 計		263億6,000万円	+8.0%

# 一般会計歳出予算【目的別】

歳出予算の推移



構成比



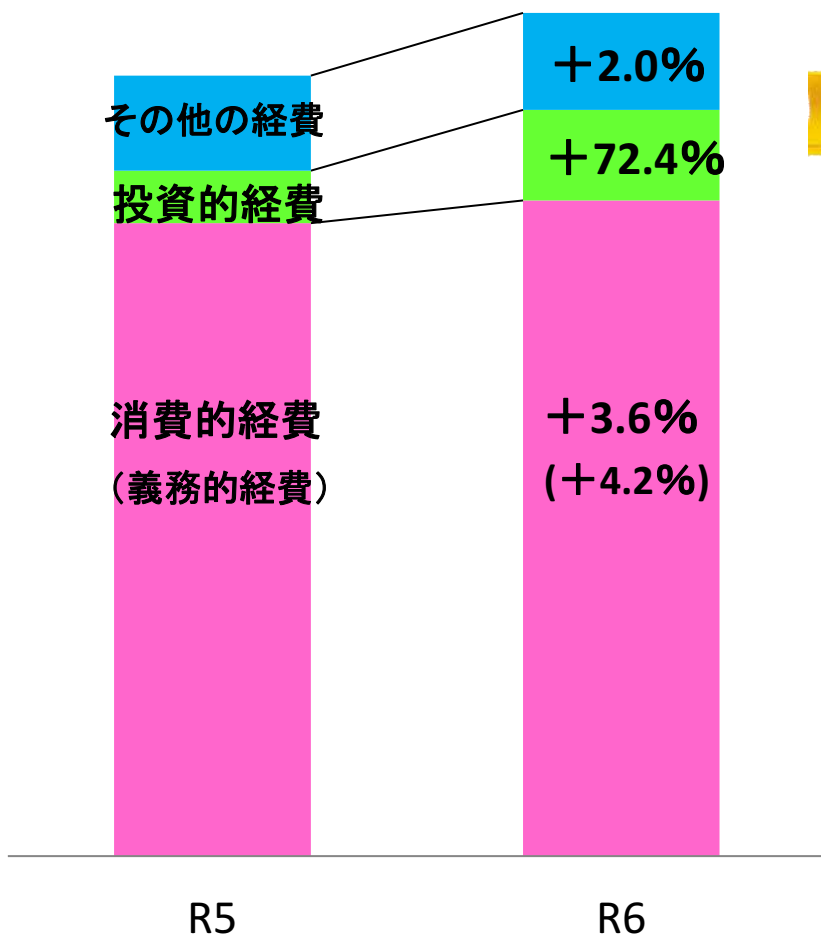
# 一般会計歳出予算【性質別】

歳出をその性質により分類すると、支出の効果がきわめて短期間で終わるものを「消費的経費」、道路・橋りょう、公園、学校などの建設や大規模改修など、社会資本の整備に要する経費である「投資的経費」、「その他の経費」に大別されます。

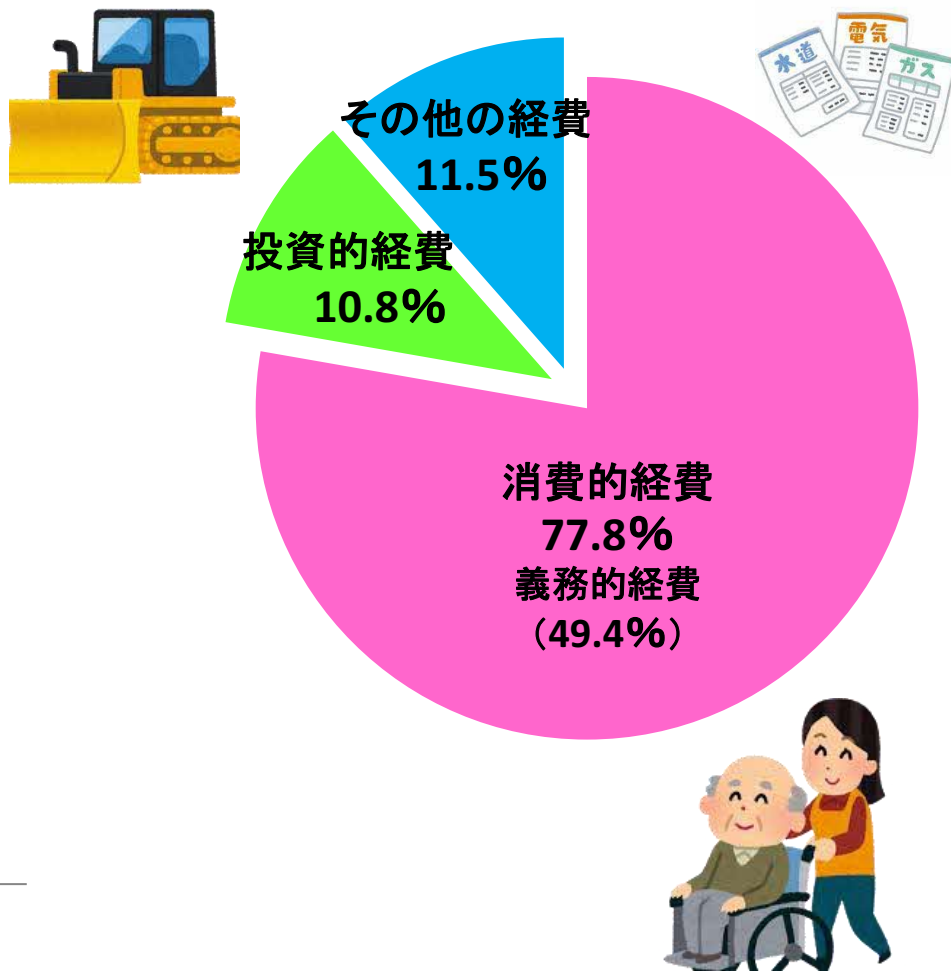
区 分	説 明	当初予算額	前年度比
消費的経費		204億9,573万円	+3.6%
義務的経費	支出することが義務付けられている経費	130億2,882万円	+4.2%
人件費	職員の給与や手当など	33億 597万円	+6.5%
扶助費	生活保護、高齢者・障がい者支援などの福祉、医療にかかる経費	80億6,441万円	+3.7%
公債費	市の借金返済にかかる経費	16億5,844万円	+1.9%
物件費	光熱水費、消耗品費、委託料など	36億5,589万円	+6.7%
維持補修費	施設などの維持補修にかかる経費	2億8,817万円	+8.7%
補助費等	市民団体等への補助や関係団体への負担金	35億2,285万円	△1.8%
投資的経費		28億3,599万円	+72.4%
普通建設事業費	公共施設やインフラ施設の整備にかかる経費	28億2,407万円	+72.7%
災害復旧事業費	自然災害により被災した公共土木施設等を復旧する費用	1,192万円	+18.2%
その他の経費		30億2,828万円	+2.0%
積立金、出資金、貸付金	基金への積立金など	443万円	+12.2%
繰出金	特別会計や企業会計の必要経費を補てんするためなどの目的のために支出する経費	30億2,385万円	+2.0%
合 計		263億6,000万円	+8.0%

# 一般会計歳出予算【性質別】

歳出予算の推移



構成比

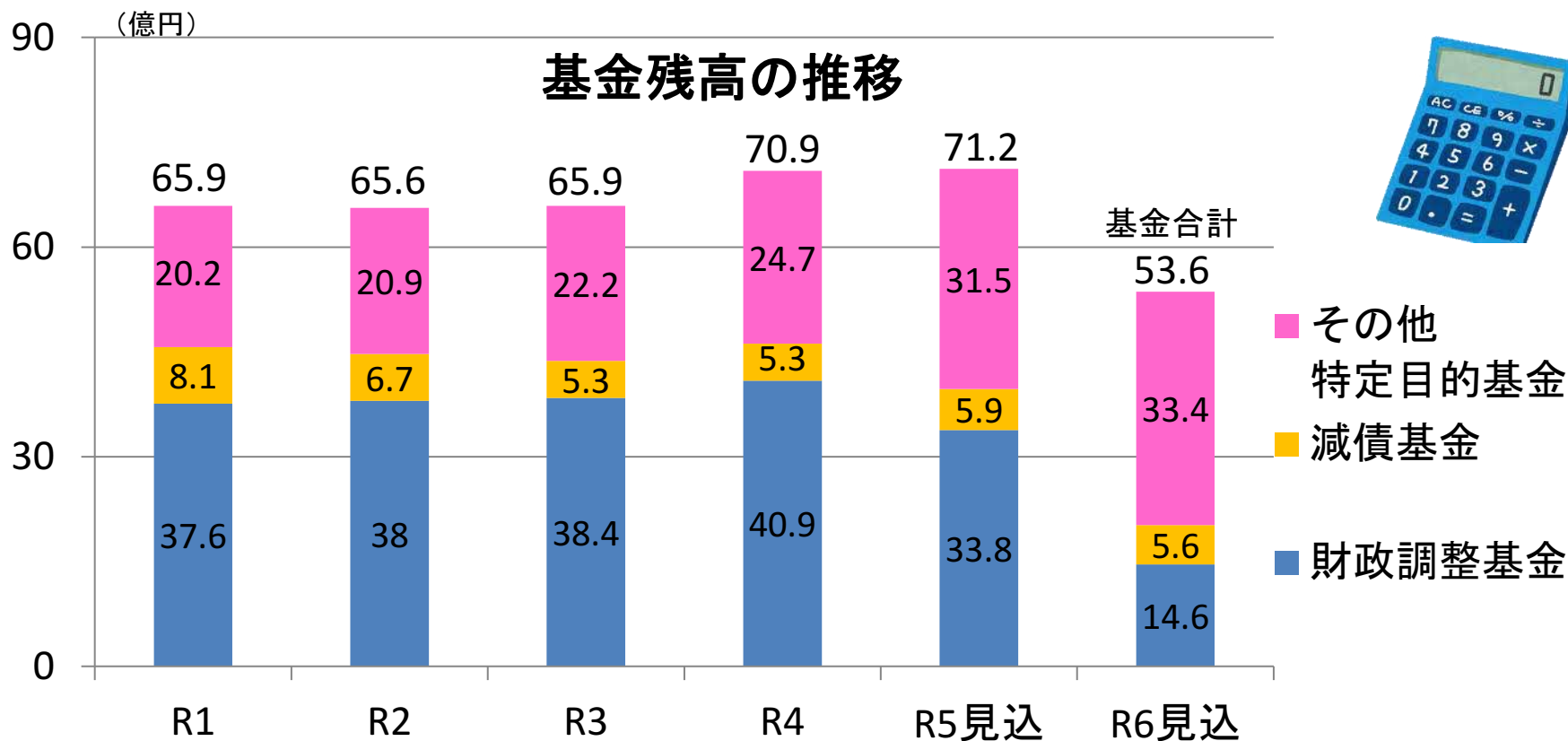




# 財政状況

## 基金残高(市の貯金)

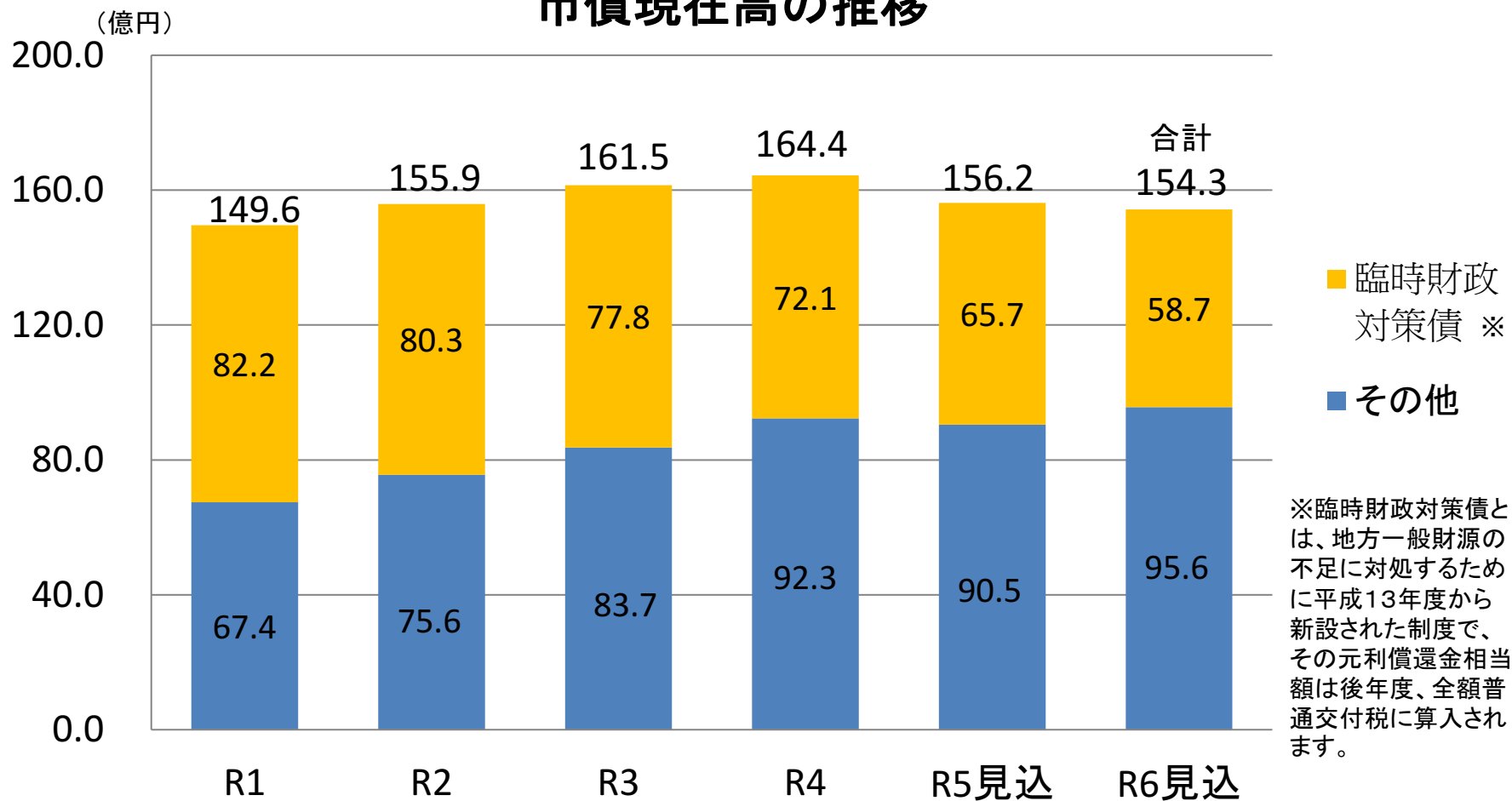
積立基金とは、本市の貯金のことです。災害復旧など臨時の支出や、経済状況の変動で収入(歳入)が足りないときや、ある特定の目的で事業を実施するときに取り崩します。



# 市債現在高(市の借金)

市債とは、本市の借金のことです。公共施設などを整備するための財源です。単年度に大きな負担をしないですみますが、後年度に地方債の元利償還金という形で将来の市民の負担になるので、借入れには十分気を付けなければいけません。

## 市債現在高の推移



# 当初予算編成の基本方針

荒尾市が目指す将来像

## 人がつながり幸せをつくる 快適未来都市

～「暮らしたいまち 日本一」を目指して～

新たなまちづくりを目指すため、重点戦略『あらお未来プロジェクト』に横断的目標「こどももみんなも笑顔でいられるまちをつくる」を設定し、積極的に推進していきます。

『あらお未来プロジェクト』

こどももみんなも笑顔で  
いられるまちをつくる

1. 切れ目のない充実した子育て環境をつくる
2. 誰もがつながりを持ち、健康でいきいきとした暮らしをつくる
3. 雇用の確保と所得の向上で安定した暮らしをつくる
4. あらおファンを増やすとともに、移住しやすい環境をつくる
5. 先進的で持続可能なまちをつくる

# こどももみんなも笑顔でいられるまちをつくる

新規

第2子保育料無償化事業

45,616千円

子育て支援課

子育て世帯の経済的負担を軽減するため、多子世帯(18歳未満の子どもを二人以上扶養)において認可保育所や認定こども園等に通う第2子の保育料を無償化します。(所得制限なし)



拡充

放課後児童クラブ拡充事業

15,101千円

子育て支援課

待機児童の解消を図るため、令和6年度から放課後児童クラブの受入体制を拡充します。

- 万田学童クラブを拡充(1単位⇒2単位)
- シオン園保育所放課後児童クラブを新設
- 清里小放課後児童クラブの拡充(学校教室の利用)



新規

児童見守りサービス導入準備事業

660千円

スマートシティ推進室

全児童に配布されているGIGAスクールタブレットの位置情報を利用して、登下校の見守りを行います。見守り体制を構築しながら令和6年10月から市内小学校2校にて先行導入します。令和7年度以降、市内の全小学校での導入を目指します。

※子ども未来基金を活用



# こどももみんなも笑顔でいられるまちをつくる

継続

学校給食費負担軽減事業

32,798千円

教育振興課

物価高騰に伴い学校給食の食材費が高騰していることから、保護者の負担を軽減するとともに、学校給食の質・量を維持し、安全でおいしい給食を提供するため、食材費増額分を補助します。



新規

特定不妊治療助成費

3,000千円

すこやか未来課

特定不妊治療を行う夫婦の経済的な負担を軽減するため、体外受精、顕微授精、男性不妊治療を実施した夫婦に対し、1回の治療につき10万円を上限に助成します。  
(保険適用となる治療のみで、高額療養費等の控除を差し引いた額が対象)

継続

青少年国際交流推進事業

581千円

観光文化交流課

荒尾の未来を担う人材を育成するため、宮崎兄弟と孫文の友情の歴史を礎として、令和5年度は本市の中学生18名がシンガポールを訪問しました。令和6年度はシンガポールの中学生20名程度が荒尾市を訪れ、本市の中学生との交流を予定しています。

※こども未来基金を活用



# 1. 切れ目のない充実した子育て環境をつくる

新規

小学校フリースクール事業

7, 290千円

学校教育課

小学校児童の不登校の解消や未然防止のため、小学校の拠点となる1校に「ハートフルルーム」を設置します。



新規

小中学校トイレ改修事業

35, 000千円

教育振興課

小学校5校及び中学校2校の校舎内トイレを全面改修(便器の洋式化及び床の乾式化等)するための調査設計を行います。未実施校の調査設計及び改修工事については、令和7年度から令和8年度にかけて実施する予定です。



新規

ICTを利用した郷土学習推進事業

1, 001千円

学校教育課

児童1人に1台配備されたタブレット端末を使い、郷土学習においてデジタルコンテンツやプレゼンテーションソフトを活用し、学校や地域のPRにつながる資料作成や学習発表を行います。

※こども未来基金を活用





# 1. 切れ目のない充実した子育て環境をつくる

新規

子育て世帯訪問支援事業

1,060千円

すこやか未来課

産後うつ等で家庭環境に悩みを抱える世帯を訪問し、家事・育児の支援を行いながら、その問題の解消を目指していきます。

拡充

ひとり親家庭等支援事業

2,776千円

子育て支援課

市内在住の匿名の方から、ひとり親家庭の支援に活用して欲しいとの希望で寄附金を頂いたことから、進学に係る経済負担を軽減するため、上級学校への進学を控えた小学6年生又は中学3年生の子どもがいる児童扶養手当受給されているひとり親家庭に、2万円(10%のプレミアムが付いて2万2千円)のシティモール商品券を支給します。

○対象児童生徒見込数 135人

## 2. 誰もががっつながりを持ち、健康でいきいきとした暮らしをつくる

新規

### 検診(健診)受診利便性向上事業

すこやか未来課  
保険介護課

検診(健診)受診者の利便性向上のため、令和6年度から大牟田市の受託医療機関においても検診(健診)の受診が可能になります。

○対象検診(健診) 子宮頸がん検診、乳がん検診、特定健診、若年者健診



拡充

### がん検診推進事業

6,050千円

すこやか未来課

受診機会の拡充のため、集団検診のみで行ってきた子宮頸がん検診及び乳がん検診について、個別検診での受診が可能になります。

拡充

### 重度心身障害者医療費助成費 1,532千円

福祉課

障がい者とその家族の経済的負担を軽減するため、令和7年1月診療分から、自己負担額(通院1,020円、入院2,040円)を無償化します。これに向けて、令和6年度はシステム改修を行います。

## 2. 誰もががっつかりを持ち、健康でいきいきとした暮らしをつくる

新規

オリンピック・パラリンピック応援事業 4,391千円

生涯学習課  
福祉課

荒尾市出身の日本代表選手が活躍する姿を一緒に応援できるよう、パブリックビューイングを実施します。

- オリンピック:男子バレー(宮浦選手)
- パラリンピック:ウィルチェアーラグビー(乗松選手)



継続

荒尾市出身トップアスリート交流事業 3,426千円

生涯学習課

本市のスポーツ振興を図るため、世界トップレベルで活躍する荒尾市出身のアスリートを講師に招き、子どもを対象としたスポーツ教室を実施します。

- 予定種目:ウィルチェアーラグビー、バレーボール



継続

スマートヘルスケアサービス事業 145,548千円

スマートシティ推進室

令和5年度に引き続き、血液検査(フォーネスビジュアス検査)及び健診結果予測シミュレーションに基づく疾病発症リスクが高い人への保健指導を実施します。そこから得られた効果・成果と、新たに導入したデジタル健康手帳に記録されたデータを熊本大学と連携して分析し、より効果的な健康プログラムの開発や改善を行います。

※財源 デジタル田園都市国家構想交付金(地方創生推進タイプ)

### 3. 雇用の確保と所得の向上で安定した暮らしをつくる

継続

荒尾市ウェルネス拠点施設整備事業 570,672千円

産業振興課

南新地地区ウェルネス拠点基本構想に基づき、道の駅、保健・福祉・子育て支援施設及び大屋根広場を一体的に整備します。令和6年度は、実施設計及び第1期工事を行います。



新規

創業等チャレンジ応援補助金 3,060千円

産業振興課

空き家・空き店舗を活用して事業所等を新設又は増設する事業者に対して、リノベーションにかかる費用や賃料などの費用を補助し、創業を後押しします。

継続

浜の活力再生事業 5,631千円

農林水産課

令和6年1月から試験販売を行っています荒尾干潟でのマガキ養殖について、安定した養殖体制がとれるよう補助します。令和6年度は本格販売に向けた体制強化を図ります。



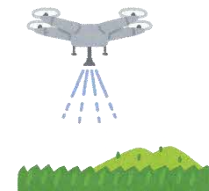
### 3. 雇用の確保と所得の向上で安定した暮らしをつくる

拡  
充

農業用機械・施設等整備事業 7,000千円

農林水産課

農業用機械や施設等の取得・整備に要する経費を補助します。  
特にスマート農業機械に対しては、農業の効率化、省力化等を推進し、農業者の経営安定化を図るために、補助率を拡充(1/4 ⇒ 3/10)します。



継  
続

農水産物販路拡大推進事業 1,850千円

農林水産課

令和4年度に発表した荒尾梨のブランド「ことのみ」の更なるプロモーションや販路拡大を行うとともに、ブランド価値の向上を図ります。



## 4. あらおファンを増やすとともに、移住しやすい環境をつくる

継続

炭鉱電車保存整備事業

5,795千円

観光文化交流課

万田坑で一般公開中の炭鉱電車12号機について、令和5年度に充電設備を整備したことから、令和6年度から毎月定期的な走行(月2回程度)の公開を行います。



新規

「明治日本の産業革命遺産」スタンプラリー事業

152千円

観光文化交流課

JR九州アプリを活用して、九州内の「明治日本の産業革命遺産」構成資産を対象としたデジタルスタンプラリーを実施します。



拡充

ラムサール湿地荒尾干潟啓発事業 2,805千円

環境保全課

荒尾干潟水鳥・湿地センターの開館5周年を記念し、8月3日(土)(予定)に荒尾干潟の重要性や魅力を発信する記念イベントを行います。





## 5. 先進的で持続可能なまちをつくる

継続

南新地土地区画整理事業特別会計

752, 664千円

都市計画課

本市の地域経済の発展のために取り組んでおります南新地土地区画整理事業について、令和6年度は公園緑地の整地工事を行います。



継続

荒尾駅周辺地区整備事業

58, 612千円

都市計画課

あらお海陽スマートタウンを核とした「人幸増加」、「交流、にぎわいの創出」、「利便性向上」の機能を有した、多世代の市民や来訪者が集まる拠点を形成するため、令和6年度は、荒尾駅周辺整備基本計画の策定、市道外磯境崎線の道路改良の実施設計及び用地取得を進めます。

新規

荒尾駅前活性化事業

1, 260千円

産業振興課

令和5年度に実施した荒尾駅前の空き店舗を活用した実証事業の成果を踏まえ、荒尾駅の駅舎において利用者の利便性向上のための飲食や物販、学習スペースなどの受容性や事業性を検証して、地域活性化を目指します。



## 5. 先進的で持続可能なまちをつくる

新規

スマート窓口化推進事業

7,961千円

市民課

来庁者の利便性向上及び滞在時間短縮を図るため、市民課及び市民サービスセンターに、マイナンバーカードを読み取り、申請書に氏名・住所などを印字するシステム及びコンビニ交付と同様の操作で住民票・印鑑証明書を発行できるシステムを導入します。



※財源 デジタル田園都市国家構想交付金(デジタル実装タイプ)

新規

事業者用高効率設備等導入補助金 14,000千円

環境保全課

2050年のゼロカーボン達成に向けて脱炭素を推進するため、事業者の高効率設備(調光制御機能付LED照明、高効率空調)の導入に対し補助します。

○補助率 : 1/2

新規

犯罪被害者等見舞金

400千円

防災安全課

犯罪行為により死亡された方の遺族又は重傷病を負った方が、再び平穏な生活を営むことができるよう支援するとともに、被害直後に直面する経済的な負担を軽減するため、見舞金を支給します。

○遺族見舞金 : 30万円

○重傷病見舞金 : 10万円

## 5. 先進的で持続可能なまちをつくる

拡  
充

リサイクル業務委託料 227,620千円

環境保全課

ごみの減量化及びプラスチック資源の循環促進を図るため、令和6年4月からプラスチック類(プラスチック製容器包装及び製品プラスチック)を新たにリサイクルの対象品目に追加します。

継  
続

荒尾総合文化センター施設改修費  
(大ホール舞台機構等設備改修) 512,050千円

観光文化交流課

荒尾総合文化センター大ホールの舞台・音響設備等について、全面的な更新工事を行います。

